

## 【戦評シート】

2011年12月3日（土）	協会名： 石川籠球クラブ			
場 所： 北陸電力体育館	記入者：			
チームA 石川	68	{ 21-18 15-25 12-12 20-22 }	80	チームB 鹿児島

スターター	チームA： #2 綿貫、 #4 ンジャイ、 #15 宮村、 #16 北村、 #24 高村
	チームB： #4 ジョンソン、 #9 西堂、 #10 伊藤、 #16 尾崎、 #39 中園
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

### 第1Q

鹿児島ジャンプシュートの確率が高く、外からのシュートで得点を重ねる。対する石川は最初の8得点全てを#15宮村が取り、存在感を見せる終盤まで一進一退の攻防を見せる中、石川は#2綿貫の速攻などから主導権を奪おうとするが、鹿児島#4 ジョンソンのインサイドプレーなどで対抗する。終了間際、石川#2 綿貫のシュートが決まり21-18と3点リードで第1Qを終える。

### 第2Q

序盤、石川が連続得点から流れをつかみかけると、鹿児島はすぐさまタイムアウトでリズムを切ると、鹿児島はそのまま#4 ジョンソン、#13 近の速攻で猛チャージをかけリードを奪う。くらくらく石川は終盤またもや#2 綿貫のシュートが決まり、ビハインドを縮めるが、36-43と鹿児島の7点リードで前半を終える。

### 第3Q

互いにシュートを決めきれず流れをつかみきれないまま時間を消費していく。石川は#6 山田のジャンプシュートや1on1、#2 綿貫の速攻などで得点を決めるが、他の選手の得点が伸びてこない。一方鹿児島は、#4 ジョンソンのゴール下を中心に攻めて得点を重ねていくと、石川にイージーミスが続き徐々に点差が広がっていく。そのまま、二桁差の石川の10点ビハインド、48-58で第3Qが終了する。

### 第4Q

これまでの展開とは一転し、序盤から両チームともに得点を重ねていく。石川はシュートタッチに当たりが出てきた#6 山田にボールを集めて得点を重ねていく。対する鹿児島も#4 ジョンソンのゴール下アタック、呼応して#13 近の3Pシュートでリードを保つ。互いに一歩も譲らないまま時間が過ぎていく。

終盤、点差をつめようとオールコートプレスを仕掛ける石川に対し、鹿児島は落ち着いてボールを運び対応する。中盤リードを保った鹿児島がそのまま逃げ切り、68-80で鹿児島の勝利で終わった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。